

# 大野城市

## 高架下周辺まちづくりニュース

No. 2

大野城市では、平成28年に「大野城市高架下利用及び市街地活性化基本計画（案）、以下基本計画（案）」を作成した以降も引き続き、西日本鉄道株式会社や専門家、大野城市内の関係団体の代表の方々とともに、検討を行っており、その検討内容を広く市民のみなさまにも知っていただくことを目的に、「高架下周辺まちづくりニュース」として取りまとめています。

第2号となる今回は、第7回及び第8回高架下利用まちづくり会議の内容を中心にみなさまにお知らせいたします。

ぜひご覧いただき、今後の魅力あるまちづくりにご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



写真：令和元年9月撮影

令和元年 10月発行

大野城市 連立・高架下活用推進室

# (1) 高架下利用まちづくり会議の進捗状況

## 第7回

令和元年 6月28日(金)

主に、ニーズ調査及びリーシング戦略についての報告や、事業コンセプトについて進捗状況を報告し、意見交換を行いました。

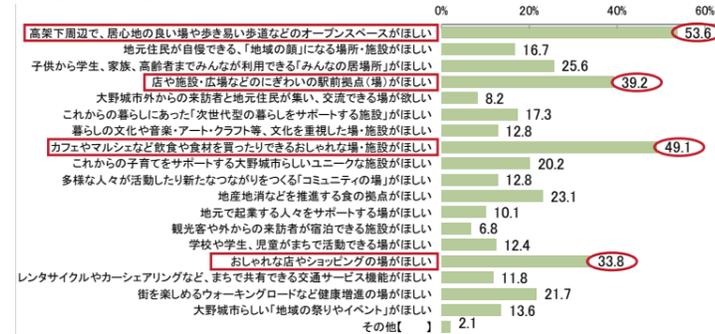
第7回会議では、市内外の事業者や住民からのヒアリング、アンケート等による本事業に対するニーズ調査及びリーシング戦略の検討結果報告と、本事業に対する市・西鉄両者の全体事業コンセプト(案)を提示し意見交換を行いました。



### ●ニーズ調査及びリーシング戦略について 【インターネットアンケートの結果】

※調査対象:大野城市、春日市、太宰府市、筑紫野市、那珂川市及び福岡市(博多区、南区、中央区)の20歳以上合計515名。

Q. 高架下活用で期待する整備は?



Q. 高架下活用で利用したい施設は?

順位	利用意向の高い施設(「利用したい」)	利用意向 (%)
第1位	ゆっくり過ごせるカフェ	76.9
第2位	地産地消のマルシェや青空市場	67.8
第3位	本屋やカフェ、体芸施設などを併設した複合型共同浴場	66.0
第4位	映画館やコミュニティFMのある文化施設	62.7
第5位	大野城の名産品を買ったり味わえる名店街、特産品スペース	61.9
第6位	音楽や公演、娯楽や趣味を通して交流できる施設や設備	53.8
第7位	BBOや都市型キャンプ体験などのアウトドアが楽しめる広場	44.3
第8位	アーティストやクリエイターが作品を展示できるテナント、ギャラリー	43.1
第9位	食や健康のカルチャースクール	42.3
第10位	子供や学生の居場所となる子供図書館やまちなか自習スペース	41.6
第11位	ウォーキングなど健康重視のデイケアサービス施設	40.0

### 【ニーズ調査まとめ】

#### 【標的市場・ターゲット(属性)】

大野城市への年間訪問回数は、全体で **11.2回/年**。現時点での市への訪問状況は**年間約830万人**と推定できる。

※試算方法:  
対象エリア人口(20代~60代)  
× 平均年間訪問回数 = 年間訪問者数

#### 【標的市場・ターゲット(属性)】

「**30代・40代の子育て世代**」を中心としながら、「20代から60代まで」の幅広い層を想定。

#### 【主な商圈】

最重点エリア:  
筑紫地域



### 【リーシングにおけるキーワード】

#### まちの顔

- 大野城らしいまちのシンボル
- 記憶に残る風景
- 地元の熱い人たちとの連携
- 求心力と発信力のある施設

#### 質の高い空間

- 暮らしに寄り添う、おしゃれ感
- 居心地の良い、みんなの居場所
- パブリックとプライベートが相互作用する空間

#### ここでしかできない体験

- 子供の記憶に残る場
- 生活文化活動の向上
- 多様なプレイヤーが交わり生み出されるアクティビティ

## 第8回

令和元年 8月23日(金)

前回に引き続き、事業コンセプト、全体の整備方針や整備イメージについて意見交換を行いました。

第8回会議では、全体事業コンセプトの修正案を提示し、意見交換を行いました。また、基本計画(案)に基づき、市が整備予定の内容(高架下の遊歩道や広場、歩道など。3ページに掲載の箇所)について、全体の方針及び整備イメージの検討状況を報告しました。



### ●事業コンセプトについて

未来をひらくにぎわいとやすらぎの  
コミュニティ都市を実現する高架下

高架下空間が「にぎわい」と「やすらぎ」の中心軸となり  
周辺地域に波及する  
質の高い高架下空間がまちと呼応しあうことで  
新たな価値を生み出していく



### ●整備イメージについて

遊歩道や広場など、各箇所の整備方針の検討状況を確認しました。また、植栽や舗装、サイン、ベンチ等の要素ごとの整備方針についても意見交換を行いました。

#### Community

- 交流を育むまち
- 地域住民も来訪者も利用しやすい憩いの場をつくる
  - 新たな交流や活動を生み出し、様々なイベントや活動でも利用できる多様な空間をつくる
  - 周辺地域との連携によって地域全体の活性化へとつなげる

#### Education

- 学びを深めるまち
- 高齢者の生涯学習や子育て世代の幼児教育など、多世代からなる市民の日々の学びを応援できる場をつくる
  - 市民の教育レベルを底上げする学習の拠点づくり
  - 子どもたちが遊んだり学んだりすることができる居場所づくり

#### Mobility

- 移動が快適なまち
- 鉄道の高架化に伴い新たな東西のつながりを創出する
  - 自転車を快適に利用できる場をつくる
  - まちの回遊性を高める新たなモビリティを展開する

#### Wellness

- 歩くことを楽しむまち
- 高架下空間を活用して沿線歩きが楽しくなる魅力をつくる
  - 自然や歴史などの地域資源をつなぎ、新たな人の動きを生み出す
  - 雨の日でも快適に歩ける空間をつくる

#### Culture

- 新たな文化を築くまち
- 上記の4つの機能を充実させ、質の高い空間をつくっていくことで、これが大野城市の新たなCulture(文化)となる。



#### 白木原〜下大利間断面イメージ

【方針】  
公園のようなみどりゆたかな歩行空間の形成

- 車道との緩衝帯となるみどり
  - 歩道の車道側に緩やかなマウンドを設け、中高木、低木、地被を中心としたボリューム感のあるみどりを配置し、みどりゆたかな歩行空間を創出する
- 木陰や風景をつくるみどり
  - 広場や休憩場所に木陰や季節感を演出する落葉樹を中心としたみどりを配置し、うるおいと彩りの憩いの場を創出する
- 憩いの広場をかたちづくるみどり
  - 広幅員歩道部に部分的に芝生を張り、公園の芝生広場のような憩いの空間を創出する

- 店舗前を彩るみどり
  - 店舗東側に花壇等のみどりを配置し、店舗前を彩る

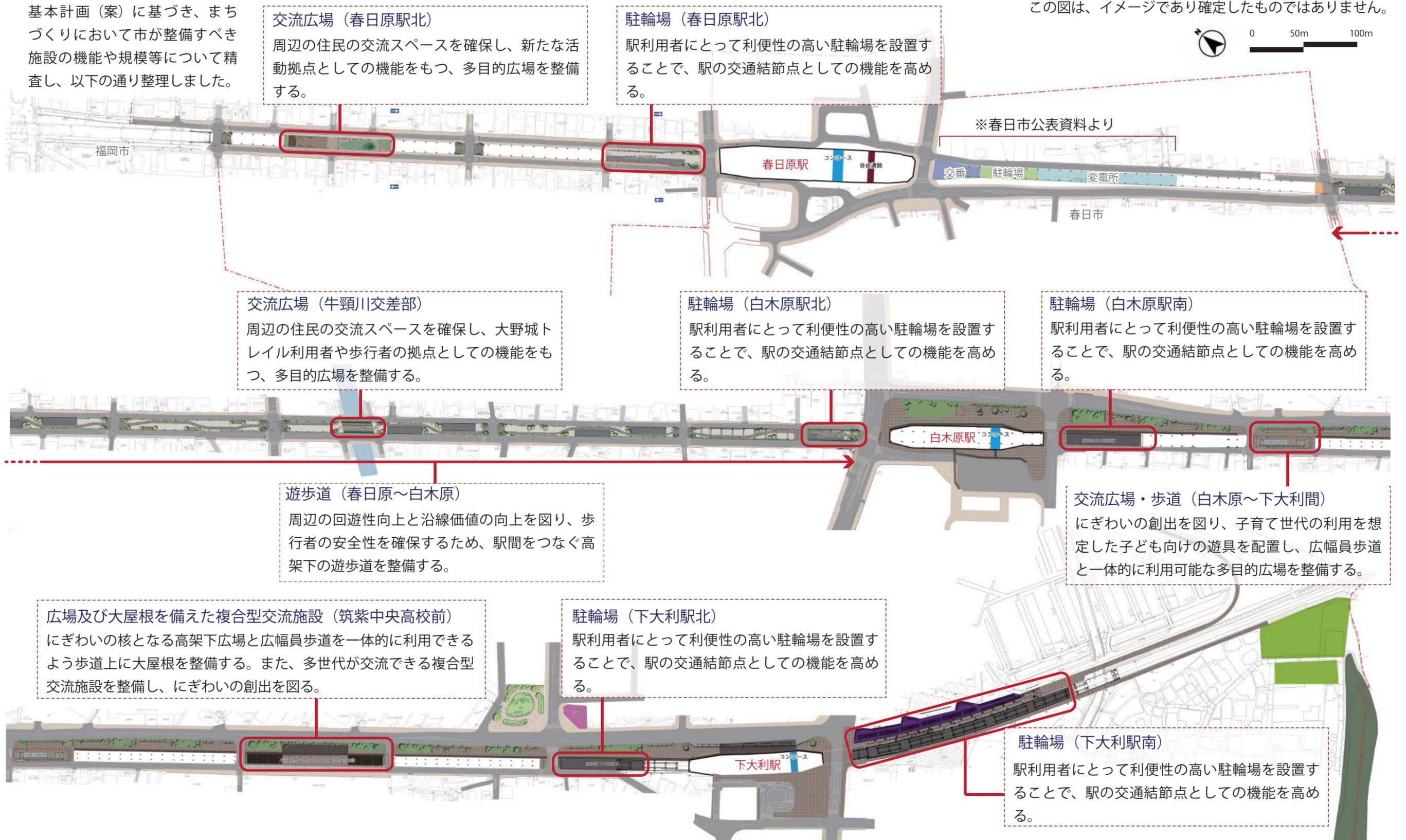
#### ■断面例(白木原〜下大利間)



## ●全体の整備方針

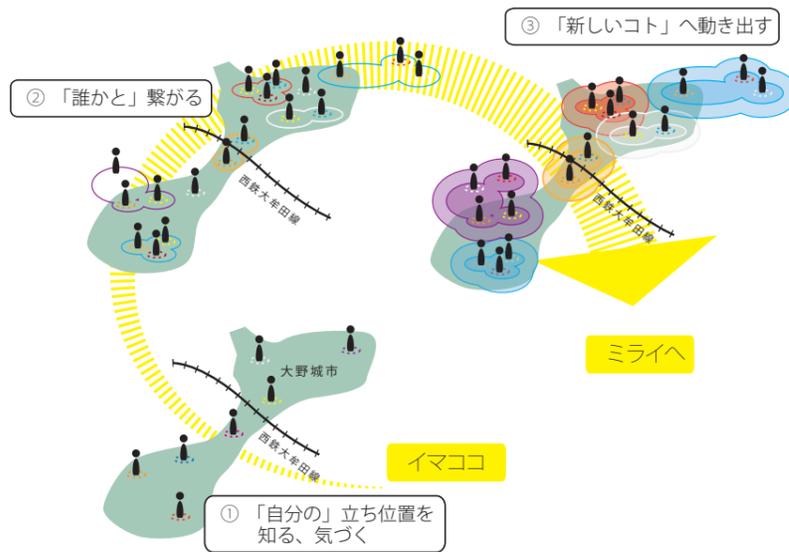
基本計画（案）に基づき、まちづくりにおいて市が整備すべき施設の機能や規模等について精査し、以下の通り整理しました。

この図は、イメージであり確定したものではありません。



## (2) 大野城市高架下活用勉強会の開催状況

高架下周辺整備を契機とし、市の魅力やにぎわいの創出に向けて、まちづくりに関する意見交換や仲間づくりを目的とした「大野城高架下活用勉強会」を実施しています。これからの大野城市全体のミライづくりに向けて、市民が主体となって働きかけ繋がりがあいながら、互いに学んでいます。これまで、計5回開催しており、前回のまちづくニュース以降に開催された第4回・第5回の勉強会の概要をお知らせします。



### ●第4回 令和元年7月2日

#### やりたいことを実現する仕掛け力と企画力 ～世界にひとつのイベントを実現させる～

「リスクを取る企画屋」として、宿泊事業やイベント事業などを幅広く手掛けている(株)ブルースカイの貞末真吾氏を講師にお迎えし、計21名の参加者とともに、「企画」について学びました。イベントの企画・運営の仕組み、やりたい!という想いをプロジェクトとして実現していくコツについて学び、質問タイムでは、貞末さんのお話を受けて生まれた疑問を深掘りしました。



### ●第5回 令和元年9月18日

#### 企画づくりのお悩み解決 ～企画のキホンを学び、企画ができちゃう講座～

第3回でも講師でお越しいただいた「福岡テンジン大学」の代表岩永真一氏を再びお迎えし、「企画」の作り方を実践的に学びました。企画をつくるプロセスを実際に体感しながら、企画のプロの講師により、ノウハウを伝授してもらいました。勉強会のあと、引き続き同じ会場にて、交流会を開催し、参加者同士の交流を深めました。



## (3) 駅舎のデザインについて

福岡県の事業により新たに高架駅となる3駅、「春日原駅」「白木原駅」「下大利駅」の外装デザインイメージが平成31年1月9日に発表されましたが、このたび鳥瞰イメージ図も追加されましたのでお知らせします。また、福岡市エリアとなる、雑餉隈駅の高架駅舎のデザインイメージが決まり発表されました。



### ●春日原駅

イメージカラー：  
春日原の“春”より 『桜色』



### ●白木原駅

イメージカラー：  
牛頸川、御笠川の水より 『薄水色』



### ●下大利駅

イメージカラー：  
大野城跡、水城の自然より 『若芽色』



### ●雑餉隈駅

新たに高架駅となる雑餉隈駅の外装イメージが決まり、福岡市と西日本鉄道株式会社から発表されました。

※このデザインは現時点のイメージであり、実際とは異なる場合があります

## (4) スケジュール

関係機関と調整を図りながら、事業を推進していきます。

	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6
連立事業			高架工事				高架切替	事業完了			
関連事業			側道・駅前広場・公園整備等								
高架下整備											
利用開始										部分利用開始	
市民	しみん会議		●シンポジウム				市民参加の継続				

## (5) 工事の進捗状況 (写真：令和元年9月撮影)

着実に高架化の整備が進み、沿線地域の新しい様子がわかるようになってきました。



大野城市 高架下周辺まちづくりニュース No.2 (令和元年10月発行)

福岡県大野城市 建設環境部 連立・高架下活用推進室

〒816-8510 福岡県大野城市曙町二丁目2番1号

TEL:092-580-1967、Fax:092-572-8432